

経済動向調査のまとめ

令和5年度 第3四半期 (10月~12月)

1. 兵庫県の景気動向

(令和5年12月15日発表 産業労働部地域経済課による兵庫県の経済・雇用情勢を集約)

① 景況

現状(良い-悪い) 構成比(%ポイント)

区分	R5.3	R5.6	R5.9	R5.12	R6.3(予測)
全産業	5	9	10	17	10
大企業	6	13	21	25	17
中堅企業	11	11	15	20	7
中小企業	2	5	2	10	9
うち製造業	▲3	▲1	6	13	9
うち非製造業	17	20	15	21	11

出所：県内企業短期経済観測調査(日本銀行神戸支店)

企業の業況判断は、足もと改善し、先行きは慎重な見方となっている。

② 需要

項目	R3年度	R4年度	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10
商業販売額:億円	18,016	18,529	1,543	1,711	1,615	1,547	1,577
(前年度比増減率%)	(+0.3)	(+2.8)	(+2.5)	(+5.3)	(+4.2)	(+4.6)	(+3.1)
乗用車販売台数:台	141,627	144,966	13,587	12,843	11,247	14,810	13,496
(前年度比増減率%)	(▲7.3)	(+2.4)	(+31.2)	(+15.1)	(+20.1)	(+13.8)	(+16.0)
新設住宅着工戸数:戸	29,844	31,911	2,180	2,367	2,796	2,412	3,240
(前年度比増減率%)	(▲2.3)	(+6.9)	(▲15.7)	(▲5.7)	(▲0.0)	(+6.5)	(▲1.0)
神戸港輸出額:億円	61,512	73,698	6,489	6,456	6,069	6,693	6,522
(前年度比増減率%)	(+23.6)	(+19.8)	(+1.4)	(+7.4)	(+0.7)	(+7.2)	▲2.5

出所：商業動態統計(経済産業省)、新車登録速報(日本自動車販売協会連合会兵庫県支部)、軽自動車新車届出状況(兵庫県軽自動車協会)、住宅着工統計(国土交通省)、神戸港貿易概況(神戸税関)(商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース)

項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(計画)
設備投資額(前年度比増減率%)	▲1.2	2.4	▲13.4	8.3	1.1
(H27年度比:H27=100)	(113.9)	(116.6)	(101.0)	(109.3)	(110.5)

出所：県内企業短期経済観測調査(日本銀行神戸支店)

個人消費は、回復に向けた動きが広がっている。

輸出は、増勢が鈍化している。設備投資は、増加計画にある。

③ 生産

項目	R3年度	R4年度	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9
鉱工業指数: H27=100	93.9	96.5	91.7	93.0	93.1	89.7	92.3
(前月比増減率%)	(+ 0.9)	(+ 2.8)	(▲ 2.7)	(+ 1.4)	(+ 0.1)	(▲ 3.7)	(+ 2.9)

注) 月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較)

出所: 兵庫県鉱工業指数 (県統計課)

生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては横ばい傾向にある。

④ 雇用

項目	R3年度	R4年度	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10
有効求人倍率(季節調整値): 倍	0.94	1.03	1.00	0.99	0.99	1.01	1.03
新規求人数(原数値): 人	28,235	29,795	29,269	28,891	26,712	29,329	31,918
(前年度比増減率%)	(+ 5.3)	(+ 5.5)	(▲ 5.3)	(▲ 4.9)	(▲ 5.7)	(▲ 2.4)	(▲ 1.9)
雇用者所得計: 億円	5,340	5,510	7,873	6,588	4,850	4,820	-
(前年度比増減率%)	(▲ 1.4)	(+ 3.2)	(+ 3.3)	(+ 5.0)	(+ 4.8)	(+ 2.9)	(-)

注) 有効求人倍率の年度値は原数値、雇用者所得計の年度値は年平均 出所: 一般職業紹介状況(厚生労働省兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

有効求人倍率は、前月を上回った。雇用者所得は、全体として改善の動きがみられる。

⑤ 金融

項目	R3年度	R4年度	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11
企業倒産件数: 件	329	368	32	45	48	48	61
(前年度比増減率%)	(▲ 16.9)	(+ 11.9)	(+ 3.2)	(+ 95.7)	(+ 60.0)	(+ 45.5)	(+ 110.3)
企業倒産負債総額: 億円	294	649	8	40	5,869	33	49
(前年度比増減率%)	(▲ 50.1)	(+ 120.5)	(▲ 45.1)	(+ 5.4)	(+ 11,340.6)	(+ 40.2)	(▲ 40.7)

出所: 兵庫県企業倒産状況 (東京商工リサーチ神戸支店)

倒産件数は、前年を上回った。

～県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント～

管内の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。設備投資は、増加している。住宅投資は、持ち直している。公共投資は、緩やかに増加している。輸出は、増勢が鈍化している。

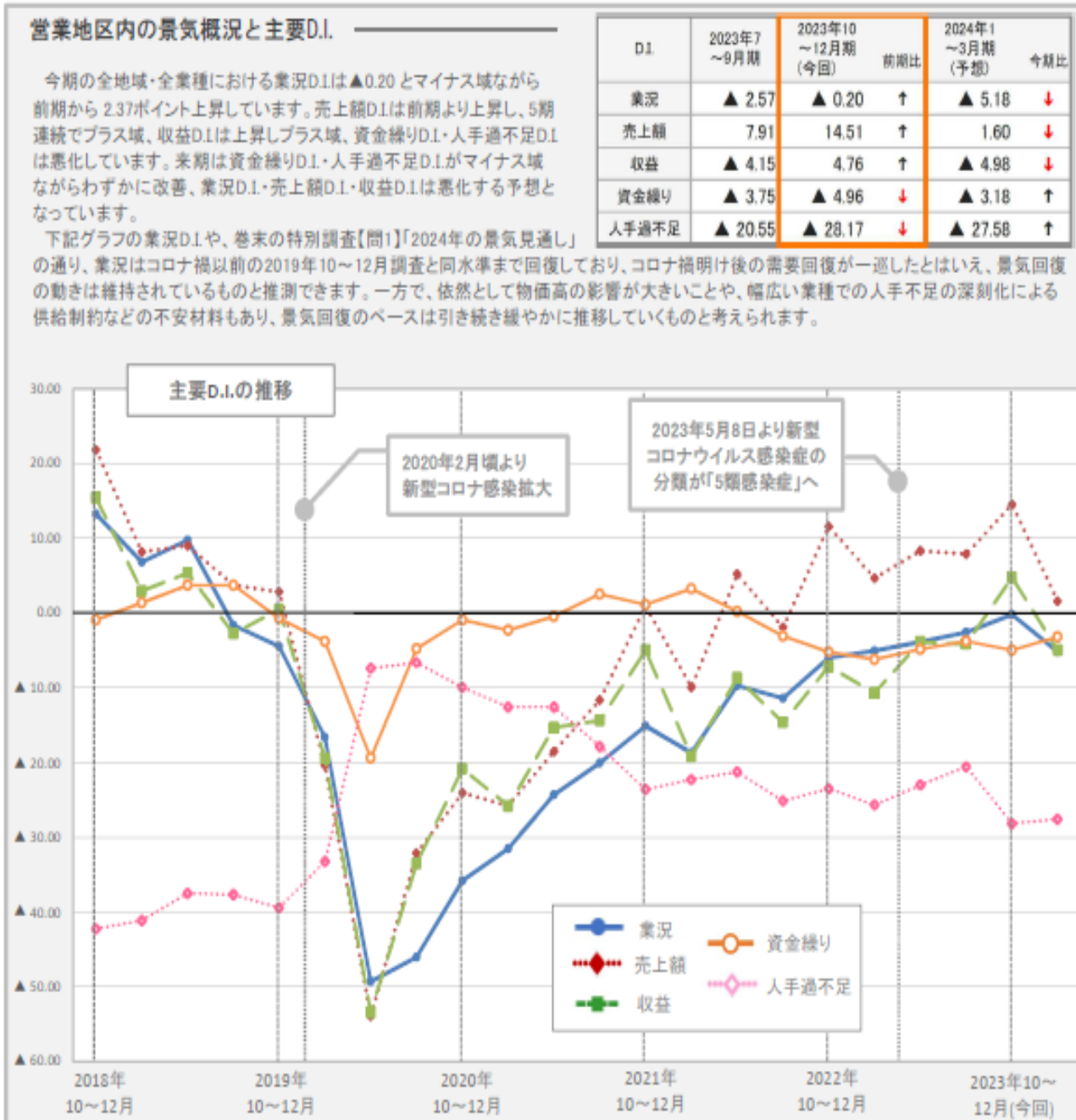
こうした中、生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては横ばい圏内で推移している。雇用・所得環境は、全体として緩やかに改善している。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を上回って推移している

(令和5年12月13日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」)

2. 地域における景気動向

(但陽信用金庫 景気動向調査レポートより 2023年 10~12月期)

※ D.I. (Diffusion Index)とは 「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と回答した企業の占める割合と、「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と回答した企業の割合との差により、景気の方角を判断する指数です。

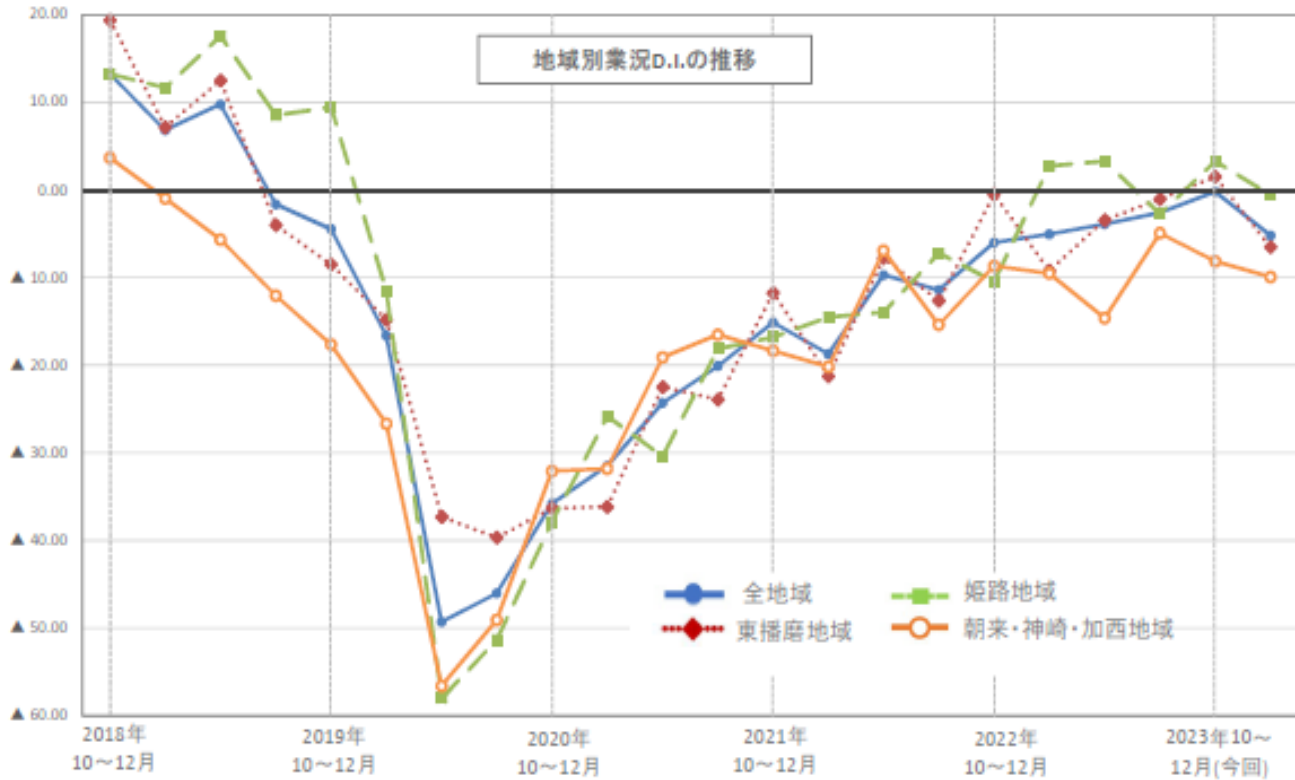


(回答企業 504社) (回答率 97.9%)

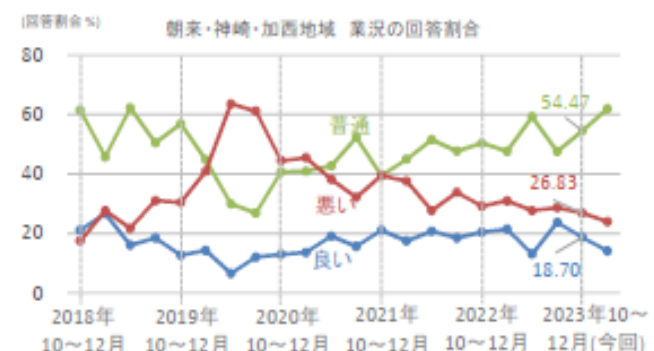
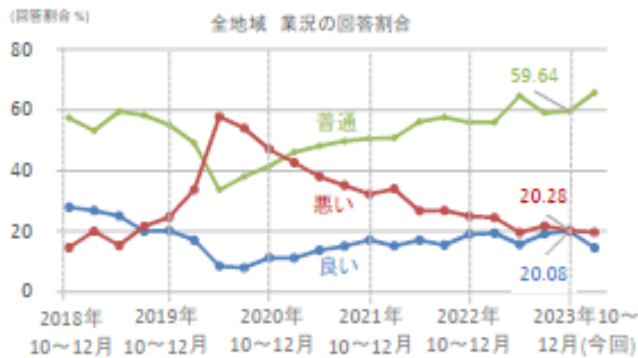
営業地区内地域別業況D.I.

今期の地域別業況は、東播磨地域が 1.51 と 2.51 ポイント上昇しプラスに、姫路地域が 3.31 と 6.03 ポイント上昇しプラスに、朝来・神崎・加西地域は▲ 8.13 と 3.21 ポイント低下しています。来期は全地域、地域別において悪化する予想となっています。

地域	(調査数)	2023年7～9月期	2023年10～12月期(今回)	前月比	2024年1～3月期(予想)	今期比
全地域	504	▲ 2.57	▲ 0.20	↑	▲ 5.18	↓
東播磨地域	200	▲ 1.00	1.51	↑	▲ 6.50	↓
姫路地域	181	▲ 2.72	3.31	↑	▲ 0.55	↓
朝来・神崎・加西地域	123	▲ 4.92	▲ 8.13	↓	▲ 9.92	↓



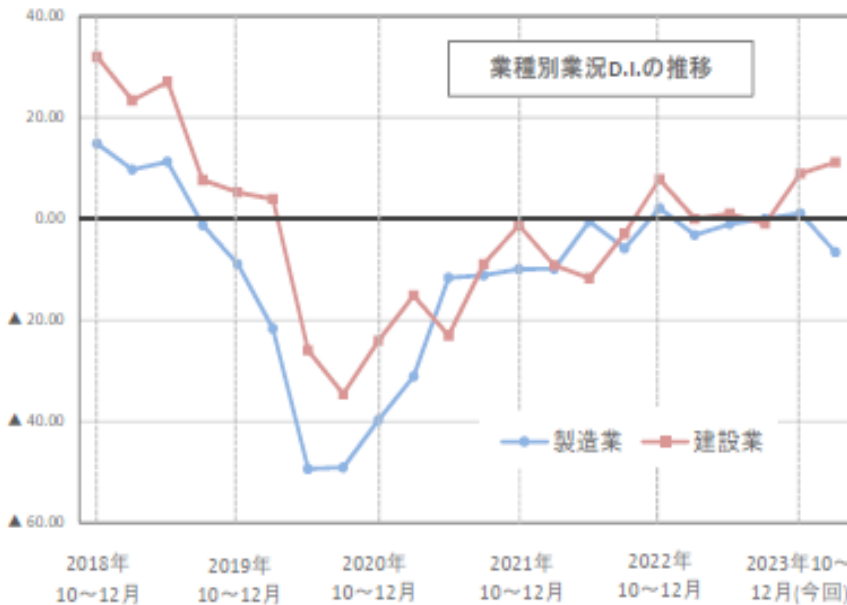
地域別業況D.I.の回答割合



営業地区内業種別業況D.I.

業種別では、製造業・サービス業・小売業・建設業が前期から改善し、不動産業・卸売業は悪化の実績となりました。来期は、小売業・建設業が改善、製造業・サービス業・不動産業・卸売業が悪化する予想となっています。

業種	2023年7～9月期	2023年10～12月期(今回)	前期比	2024年1～3月期(予想)	今期比
製造業	0.00	1.10	↑	▲ 6.59	↓
サービス業	▲ 6.49	▲ 1.30	↑	▲ 9.09	↓
不動産業	10.00	▲ 6.90	↓	▲ 16.67	↓
小売業	▲ 16.42	▲ 12.12	↑	▲ 10.61	↑
卸売業	2.08	▲ 2.08	↓	▲ 12.50	↓
建設業	▲ 0.98	8.91	↑	11.11	↑



業種別業況D.I.の回答割合

